

2 予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出（記載金額は消費税及び地方消費税額を含む。）

収益的収支に係る予算の執行状況は、次のとおりである。

ア 収益的収入の予算執行状況

収入

(単位:千円・%)

区 分	予算現額 A	決算額 B	予算現額に対する 決算額の増減	執行率 (B/A)
水道事業収益	5,020,028	5,044,406	24,378	100.5
営業収益	4,713,695	4,716,024	2,329	100.0
営業外収益	304,669	310,771	6,102	102.0
特別利益	1,664	17,611	15,947	1,058.4

(備考) 決算額には、仮受消費税及び地方消費税 429,127 千円を含む。

営業収益の内訳は、給水収益（水道料金）46 億 6,340 万 6 千円及びその他営業収益 5,261 万 8 千円となっている。営業外収益には、長期前受金戻入^(注) 2 億 8,804 万円が計上されている。

(注) 1 長期前受金：減価償却を行うべき固定資産の取得又は改良に充てるための補助金等の交付を受けた場合における、その交付を受けた金額に相当するもの

2 長期前受金戻入：償却資産の取得又は改良に伴い交付される補助金等について負債に計上した長期前受金のうち、減価償却見合い分を収益化したもの

イ 収益的支出の予算執行状況

支出

(単位:千円・%)

区 分	予算現額 A	決算額 B	繰越額	不用額	執行率 (B/A)
水道事業費用	4,911,234	4,554,967	9,900	346,367	92.7
営業費用	4,691,067	4,358,909	9,900	322,258	92.9
営業外費用	194,864	190,594	0	4,270	97.8
特別損失	6,494	5,464	0	1,030	84.1
予備費	18,809	0	0	18,809	0

(備考) 決算額には、仮払消費税及び地方消費税 210,704 千円並びに消費税及び地方消費税納付額 115,096 千円を含む。

営業費用は、減価償却費 15 億 8,352 万円 8 千円や、原水及び浄水費 15 億 7,947 万 6 千円（うち受水費^(注) 8 億 8,758 万 6 千円を含む。）が大きなものとなっている。また、不用額については、退職給付費を含む人件費、及び委託料や修繕費の執行残が主なものである。

営業外費用は、企業債に係る支払利息 7,549 万 8 千円が主なものである。

(注) 受水費：本年度分の福岡県南広域水道企業団受水料金 887,101 千円（68 円×12,296,412 m³+9 円×5,660,485 m³=887,101 千円）に、大木町及び筑後市受水料金 485 千円を加えたものである。

(2) 資本的収入及び支出（記載金額は消費税及び地方消費税額を含む。）

資本的収支（設備投資など、支出の効果が翌年度以降に及び、将来的な収益に対応することとなる取引などの収支）に係る予算の執行状況は、次のとおりである。

ア 資本的収入の予算執行状況

収入

(単位:千円・%)

区 分	予算現額 A	決算額 B	予算現額に対する 決算額の増減	執行率 (B/A)
資本的収入	1,397,458	992,271	△ 405,187	71.0
企業債	1,000,000	750,000	△ 250,000	75.0
負担金	291,870	109,041	△ 182,829	37.4
加入金	103,901	132,166	28,265	127.2
固定資産売却代金	74	1,064	990	1,437.8
補助金	1,613	0	△ 1,613	0

(備考) 決算額には、仮受消費税及び地方消費税 13,754 千円を含む。

資本的収入は、企業債 7 億 5,000 万円や、負担金 1 億 904 万 1 千円及び加入金 1 億 3,216 万 6 千円が主なものである。

イ 資本的支出の予算執行状況

支出

(単位:千円・%)

区 分	予算現額 A	決算額 B	繰越額	不用額	執行率 (B/A)
資本的支出	3,335,917	2,423,848	607,753	304,316	72.7
建設改良費	2,273,449	1,421,476	607,753	244,220	62.5
企業債償還金	1,022,372	1,002,372	0	20,000	98.0
補助金返還金	20,096	0	0	20,096	0
予備費	20,000	0	0	20,000	0

(備考) 決算額には、仮払消費税及び地方消費税 116,854 千円を含む。

資本的支出は、建設改良費のうち配水管布設や水道管改良などの工事請負費 11 億 7,130 万 3 千円や、企業債償還金 10 億 237 万 2 千円が主なものとなっている。

建設改良費の繰越額は、浄水場の沈殿池機械設備更新工事や水道管の布設・移設工事など、翌年度に繰り越した工事にかかる金額である。

ウ 資本的収支の不足額

本年度の資本的収支不足額は、以下のとおり 14 億 3,157 万 7 千円となる。（補填状況については、「(3) 資本的収支不足額の補填状況」を参照）

$$\begin{array}{rcl}
 \text{資本的収入額} & & \text{資本的支出額} \\
 992,271 \text{ 千円} & - & 2,423,848 \text{ 千円} = \Delta 1,431,577 \text{ 千円}
 \end{array}$$

(3) 資本的収支不足額の補填状況

資本的収支不足額の補填状況は、次表のとおりである。

資本的収支不足額の補填の内訳

(単位:千円)

区 分	補填額
消費税及び地方消費税資本的収支調整額〔当年度分〕	103,099
減債積立金	600,000
損益勘定留保資金〔過年度分〕	728,478
計	1,431,577

(備考)

- 1 消費税及び地方消費税資本的収支調整額：仮受消費税額等と仮払消費税額等の差額から特定収入見合消費税額を除いたものを、資本的収支予算の調整額として会計上別途内部留保するもの。
- 2 減債積立金：特定の目的のため議会の議決を経て積み立てた積立金の1つで、補填財源として使用できる。
- 3 損益勘定留保資金：実際の支出が行われずに帳簿上計上される費用の合計額。内部留保資金にできる。